

地域包括ケア病棟入院料及び 地域包括ケア入院医療管理料

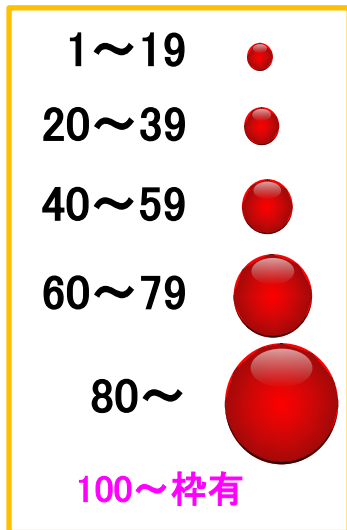
入院料(管理料)1 (40日以内2,934点・41日以降2,786点)・・・1,607病院(60.3%)
入院料(管理料)2 (40日以内2,766点・41日以降2,627点)・・・1,008病院(37.8%)
入院料(管理料)3 (40日以内2,397点・41日以降2,276点)・・・16病院(0.6%)
入院料(管理料)4 (40日以内2,187点・41日以降2,077点)・・・36病院(1.3%)

病院数カウント(例:地包ケア1・3
両方の算定病院は1でカウント)

地域包括ケア病棟算定2,667病院

令和8年(2026年)8月17日時点の地方厚生局確認データ (R8年7月届出まで)

(一部8月更新あり)



TOP10ランキング

- 1 福岡県 174
- 2 東京都 157
- 3 兵庫県 139
- 4 大阪府 135
- 5 北海道 127
- 6 埼玉県 100
- 7 愛知県 97
- 8 広島県 91
- 9 鹿児島県 90
- 10 神奈川県 86

同順は都道府県番号順

岡山県80	宮城県42	三重県29
熊本県80	静岡県42	栃木県28
大分県65	高知県39	秋田県27
千葉県62	福島県38	沖縄県27
長崎県62	岐阜県38	富山県26
長野県57	岩手県36	青森県25
群馬県55	佐賀県35	山形県23
宮崎県53	石川県34	山梨県22
愛媛県52	奈良県34	鳥取県22
京都府49	徳島県32	香川県22
山口県46	福井県31	島根県21
新潟県44	和歌山県31	滋賀県19
茨城県43		

地方厚生局別

- 北海道 127
- 東北 191
- 関東信越 654
- 東海北陸 266
- 近畿 438
- 中国 260
- 四国 145
- 九州沖縄 586

病床数110,722床

地域包括医療病棟入院料

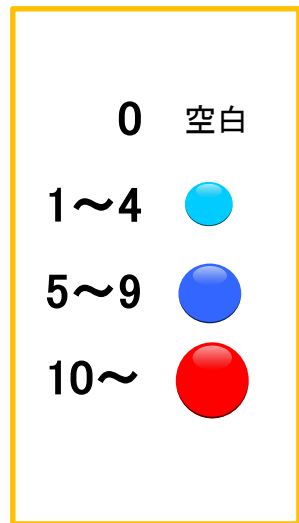
入院料 1（緊急入院+手術なし）、入院料 2（緊急入院+手術あり または 予定入院+手術なし）、入院料 3（予定入院+手術あり）

入院料 1：入院料 1（3,367点）、入院料 2（3,267点）、入院料 3（3,117点）
入院料 2：入院料 1（3,316点）、入院料 2（3,216点）、入院料 3（3,066点）

地域包括医療病棟算定277病院

令和8年(2026年)8月17日時点の地方厚生局確認データ（R8年7月届出まで）

（一部8月更新あり）



TOP10ランキング

- 1 大阪府 30
- 2 東京都 27
- 3 神奈川県 20
- 4 兵庫県 16
- 5 埼玉県 11
- 5 福岡県 11
- 7 千葉県 10
- 7 長野県 10
- 7 岡山県 10

同順は都道府県番号順

- | | | |
|-------|------|------|
| 静岡県9 | 宮城県3 | 秋田県1 |
| 愛知県9 | 茨城県3 | 山形県1 |
| 京都府9 | 山梨県3 | 栃木県1 |
| 北海道8 | 岐阜県3 | 鳥取県1 |
| 新潟県7 | 三重県3 | 高知県1 |
| 鹿児島県7 | 青森県2 | 宮崎県1 |
| 石川県6 | 福島県2 | 山口県0 |
| 奈良県5 | 群馬県2 | |
| 広島県5 | 富山県2 | |
| 岩手県4 | 福井県2 | |
| 滋賀県4 | 島根県2 | |
| 和歌山県4 | 徳島県2 | |
| 佐賀県4 | 香川県2 | |
| 熊本県4 | 愛媛県2 | |
| 大分県4 | 長崎県2 | |
| | 沖縄県2 | |

ゼロ県
1

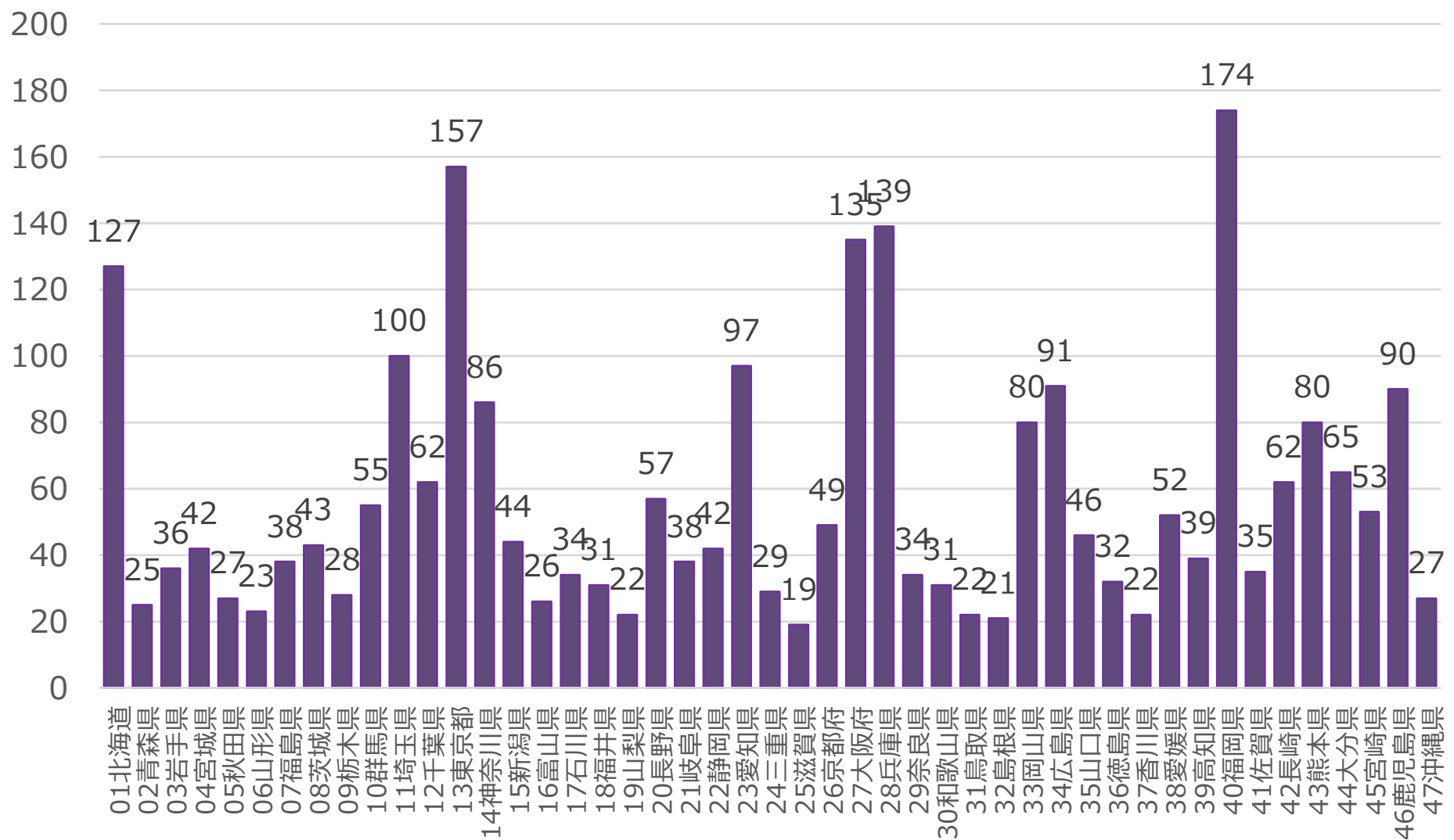
地方厚生局別

	北海道	8
	東北	13
	関東信越	94
	東海北陸	32
	近畿	70
	中国	18
	四国	7
	九州沖縄	35

病床数14,190床

地域包括ケア病棟・管理料

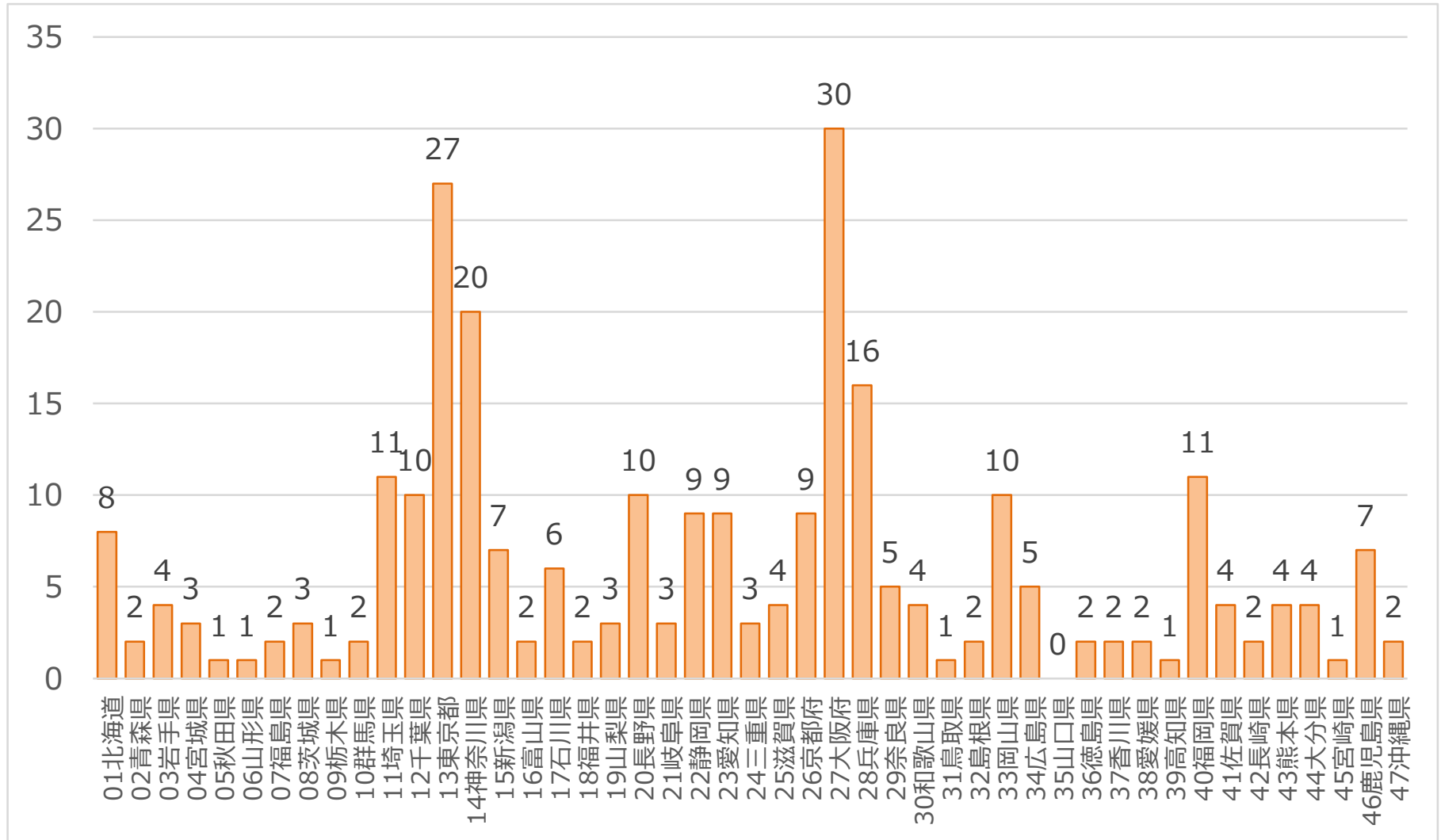
2,667病院（110,722病床）



地域包括医療病棟

277病院（14,190病床）

1病院あたり51.2床

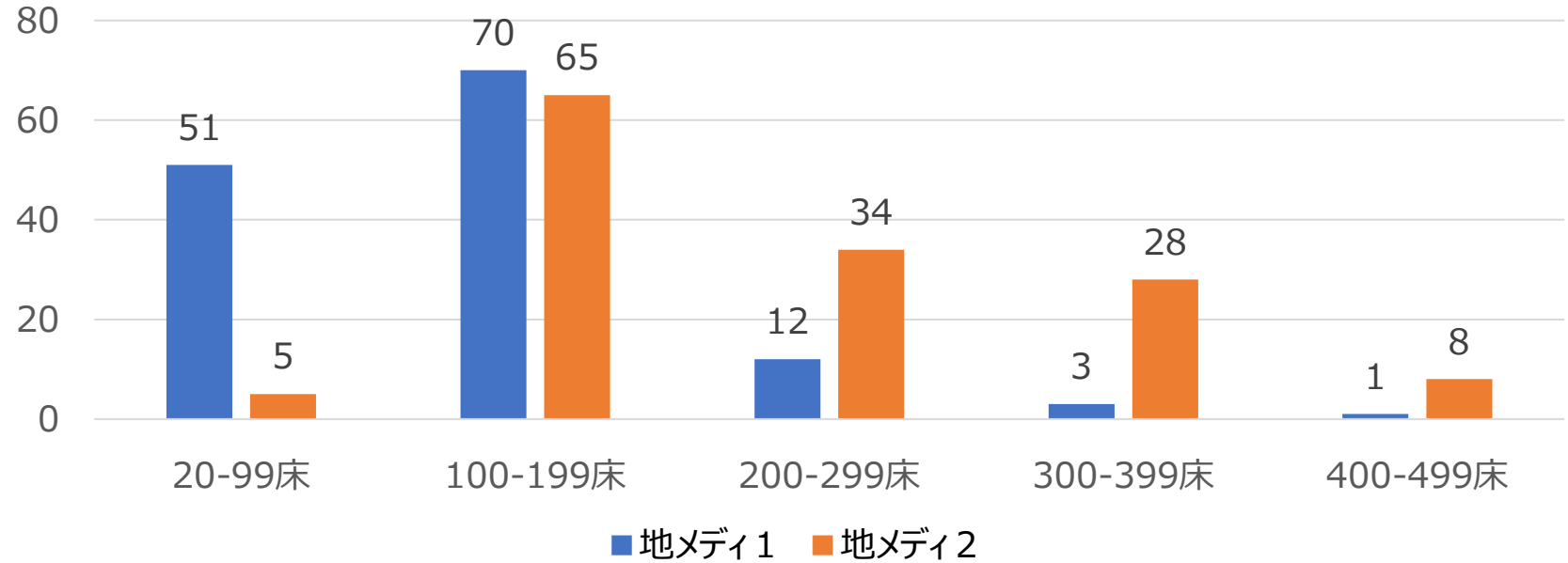


地域包括医療病棟 入院料 1・2 別

病床数	地メディ 1	地メディ 2	計
20-99床	51	5	56
100-199床	70	65	135
200-299床	12	34	46
300-399床	3	28	31
400-499床	1	8	9
計	137	140	277

区分	地域包括医療病棟入院料1 (地メディ 1)	地域包括医療病棟入院料2 (地メディ 2)
一般病棟（急性期）の併設	なし（一般病棟入院基本料を算定する病棟を有しない）	あり（併設の制限なし）
点数設定	高め	標準
評価の狙い	急性期病棟を持たずに地域包括医療病棟のみで救急等に対応する医療機関を重点評価	急性期病棟とのケアミックス（病棟併設）で連携を行う医療機関を評価

地域包括医療病棟 許可病床別届出状況



両病棟機能の比較

病院数、病床スケールと役割の明確な差

地域包括ケア病棟（2,667病院）は全国で幅広く浸透し、平均41.5床で、いわゆるサブアキュートとポストアキュート、および在宅復帰を支える基盤として確立しています。

一方、2024改定で新設された地域包括医療病棟（277病院）は、平均51.2床と規模が大きく、高齢者の救急受入や急性期疾患を直接担う新たな軸として、2026年7月以降、届出病院が加速しています。



地域包括ケア病棟の届出実績

2,667病院

全国算定病院数 (110,722病床)

区分別内訳：上位（**入院料1**）への圧倒的集中

入院料1（40日以内 2,934点）：1,607病院 (60.3%)

入院料2（40日以内 2,766点）：1,008病院 (37.8%)

入院料3・4（低点数区分）：計52病院 (1.9%)

地域包括医療病棟の最新状況



277病院

全国算定病院数 (14,190病床)

届出区分と地域偏在のリアル

一般病棟併設なし（地包医1）：**137病院 (49.5%)**

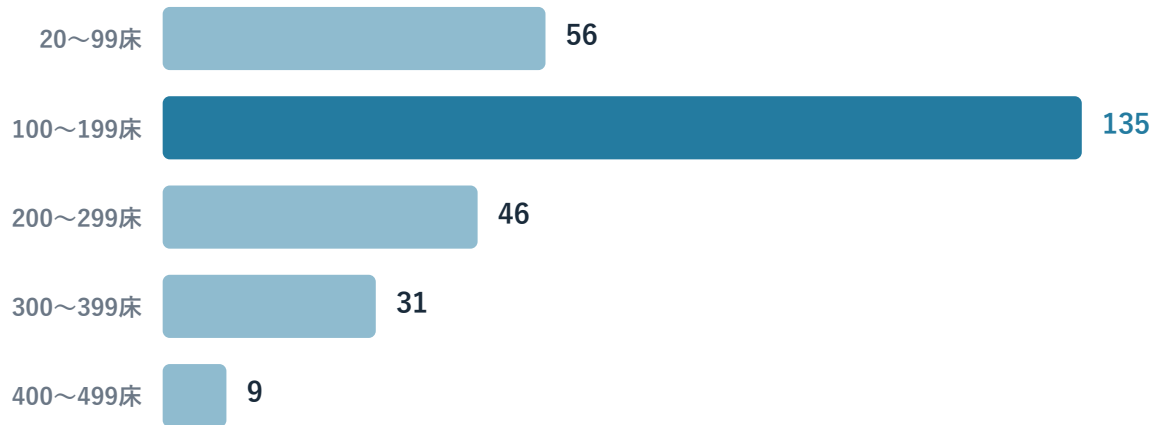
※地包医病棟が最も救急・急性期よりの病院への重点評価区分

一般病棟併設あり（地包医2）：**140病院 (50.5%)**

※急性期病棟とのケアミクス（病棟併設）による運用

地メディ算定病院の病床規模別内訳

地メディ導入病院の約半数は100～199床。中小急性期が主要プレイヤー



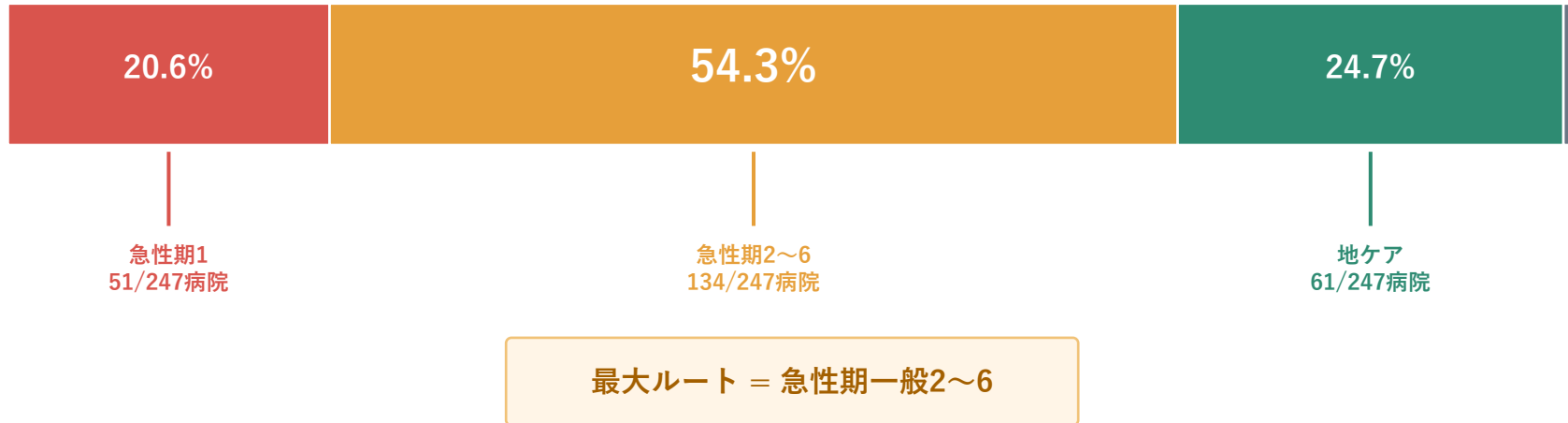
48.7%

100～199床

【分析インサイト】 中小規模病院（200床未満）が全体の70.7%（196病院）を占めており、特に100床台の地域中核病院における病床再編の切り札として採用されています。

転換元54.3%は急性期2～6

地メディは地ケアの代替ではなく、急性期病床を再定義する主要ルート



都道府県別 届出数 TOP5 比較

順位	地域包括ケア病棟（地ケア）	地域包括医療病棟（地メディ）
1位 1位	福岡県（174病院）	大阪府（30病院）
2位 2位	東京都（157病院）	東京都（27病院）
3位 3位	兵庫県（139病院）	神奈川県（20病院）
4位	大阪府（135病院）	兵庫県（16病院）
5位	北海道（127病院）	埼玉県 / 福岡県（各11病院）

【地域特性】 大都市圏（大阪・東京・神奈川）で地メディの先行届出が顕著。競合病院に先駆けて地域ポジションを確立する先行者優位が働いています。